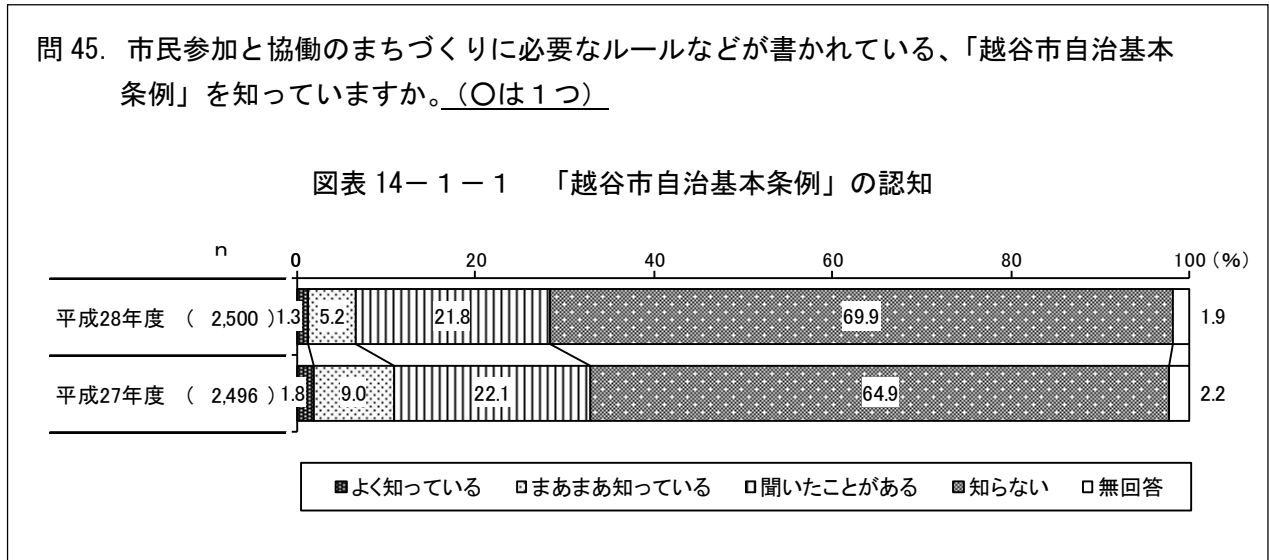


14. 自治基本条例について

(1) 「越谷市自治基本条例」の認知

◇『知っている』は1割未満



「越谷市自治基本条例」の認知については、「よく知っている」(1.3%)と「まあまあ知っている」(5.2%)を合わせた『知っている』(6.5%)は1割に満たない結果となっている。一方、「知らない」(69.9%)は約7割となっている。

※ 経年比較については、前回調査と質問の仕方が異なるため記述しない。

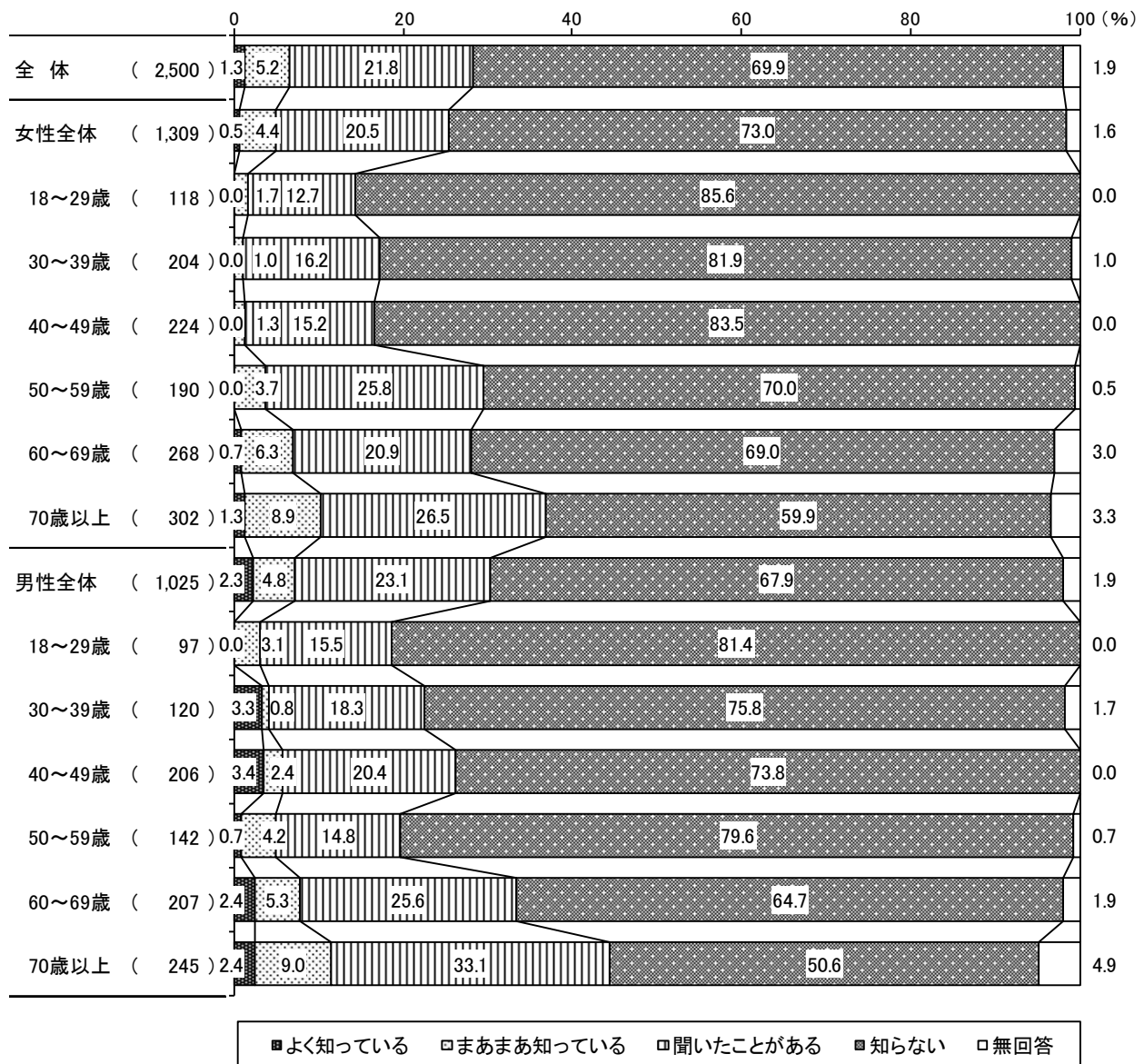
平成27年度質問：越谷市では、平成21年に「自治基本条例」を制定し、参加と協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたはそのことを知っていますか。

# 【資料5】 平成28年度市政世論調査結果報告書 抜粋

性別で見ると、『知っている』は男性（7.1%）が女性（4.9%）より2.2ポイント高く、一方、「知らない」は女性（73.0%）が男性（67.9%）より5.1ポイント高くなっている。

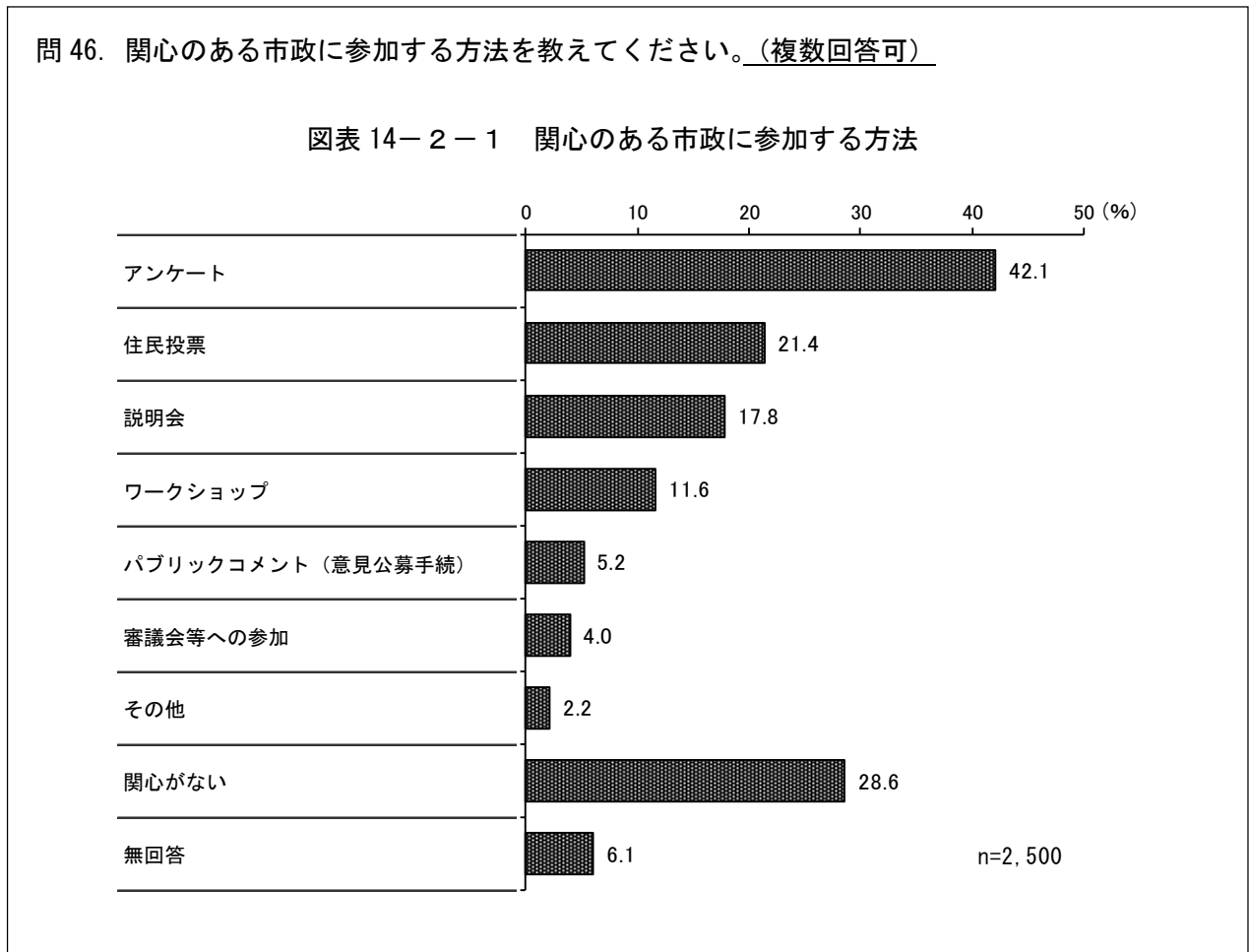
性・年齢別で見ると、「よく知っている」は男性40～49歳（3.4%）、男性30～39歳（3.3%）でやや多く、「まあまあ知っている」は男性70歳以上（9.0%）、女性70歳以上（8.9%）で約1割となっている。一方、「知らない」は女性18～29歳（85.6%）、女性40～49歳（83.5%）、女性30～39歳（81.9%）、男性18～29歳（81.4%）で8割以上と多くなっている。

図表 14-1-2 性・年齢別 「越谷市自治基本条例」の認知



(2) 関心のある市政に参加する方法

◇「アンケート」が最も多く、4割強



関心のある市政に参加する方法については、「アンケート」(42.1%) が最も多く、次いで、「住民投票」(21.4%)、「説明会」(17.8%)、「ワークショップ」(11.6%)、「パブリックコメント (意見公募手続)」(5.2%) の順となっている。また、「その他」として「議員経由で直接意見具申」「在宅でできる方法」等が挙げられた。

## 【資料5】 平成28年度市政世論調査結果報告書 抜粋

性別で見ると、「説明会」は男性（21.3%）が女性（14.7%）より6.6ポイント、「住民投票」は男性（24.4%）が女性（19.4%）より5.0ポイントそれぞれ高く、「ワークショップ」は女性（14.1%）が男性（9.9%）より4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「住民投票」は男性40～49歳（38.3%）で4割弱と多く、「説明会」は男性70歳以上（29.0%）で約3割と多くなっている。一方、「関心がない」は女性18～29歳（43.2%）、男性30～39歳（40.0%）で4割以上と多くなっている。

図表14-2-2 性・年齢別 関心のある市政に参加する方法

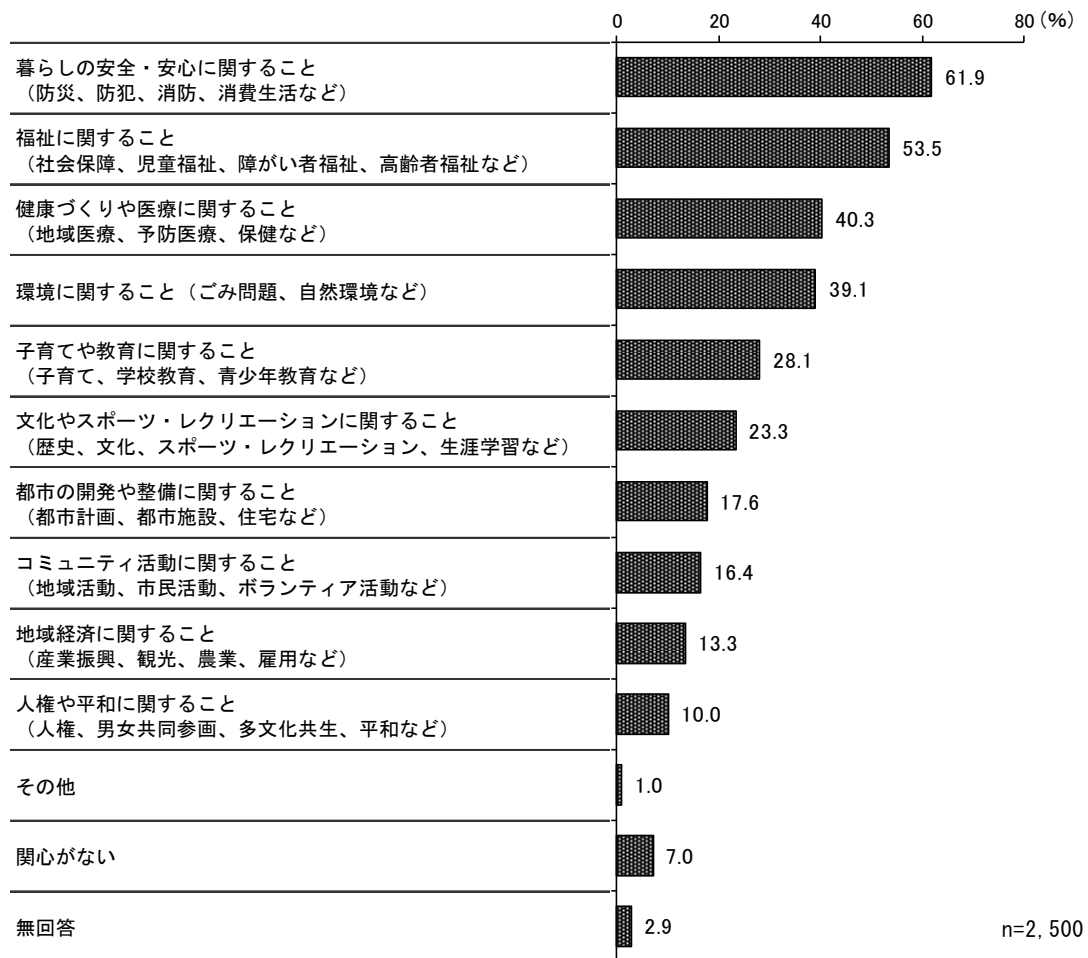
	調査数（人）	アンケート	住民投票	説明会	ワークショップ	パブリックコメント （意見公募手続）	審議会等への参加	その他	関心がない	無回答
全体	2,500	42.1	21.4	17.8	11.6	5.2	4.0	2.2	28.6	6.1
女性全体	1,309	42.9	19.4	14.7	14.1	4.1	3.1	2.0	29.0	6.5
18～29歳	118	35.6	18.6	4.2	19.5	4.2	-	1.7	43.2	2.5
30～39歳	204	47.5	27.5	9.3	23.5	7.8	1.5	0.5	31.9	0.5
40～49歳	224	41.5	24.6	12.9	14.7	5.8	2.7	2.7	29.0	4.0
50～59歳	190	48.9	21.1	15.3	16.8	5.8	5.3	3.7	21.6	2.6
60～69歳	268	47.8	15.7	18.7	10.4	2.2	1.9	1.5	25.0	6.7
70歳以上	302	35.1	12.9	19.9	7.0	1.0	5.6	2.0	30.1	16.2
男性全体	1,025	42.4	24.4	21.3	9.9	6.5	5.5	1.9	28.5	4.1
18～29歳	97	36.1	29.9	15.5	15.5	8.2	3.1	1.0	37.1	-
30～39歳	120	34.2	26.7	14.2	11.7	4.2	3.3	1.7	40.0	2.5
40～49歳	206	41.3	38.3	13.6	9.2	9.7	3.9	1.9	26.2	1.0
50～59歳	142	43.0	24.6	20.4	9.9	4.9	5.6	2.8	32.4	1.4
60～69歳	207	46.4	17.4	26.6	10.1	8.7	9.2	2.4	24.6	5.3
70歳以上	245	45.7	14.7	29.0	6.9	2.9	5.3	1.2	22.9	9.8

(3) 関心のあるまちづくりの分野

◇「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が最も多く、約6割

問47. 関心のあるまちづくりの分野を教えてください。(複数回答可)

図表 14-3-1 関心のあるまちづくりの分野



関心のあるまちづくりの分野については、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」(61.9%)が最も多く、次いで、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」(53.5%)、「健康づくりや医療に関すること（地域医療、予防医療、保健など）」(40.3%)、「環境に関すること（ごみ問題、自然環境など）」(39.1%)、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」(28.1%)の順となっている。また、「その他」として「水害対策」「動物殺処分ゼロの行政」等が挙げられた。

# 【資料5】 平成28年度市政世論調査結果報告書 抜粋

性別でみると、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」は女性（57.6%）が男性（48.2%）より9.4ポイント、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」は女性（32.0%）が男性（25.2%）より6.8ポイントそれぞれ高く、一方、「都市の開発や整備に関すること（都市計画、都市施設、住宅など）」は男性（21.8%）が女性（14.5%）より7.3ポイント、「文化やスポーツ・レクリエーションに関すること（歴史、文化、スポーツ・レクリエーション、生涯学習など）」は男性（27.5%）が女性（20.8%）より6.7ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別でみると、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」は男性70歳以上（71.8%）、女性50～59歳（70.5%）で約7割と多くなっている。また、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」は女性50～59歳（67.4%）、女性60～69歳（66.8%）で6割半ば以上、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」は女性30～39歳（67.2%）、女性18～29歳（60.2%）で6割以上と多くなっている。

図表14-3-2 性・年齢別 関心のあるまちづくりの分野

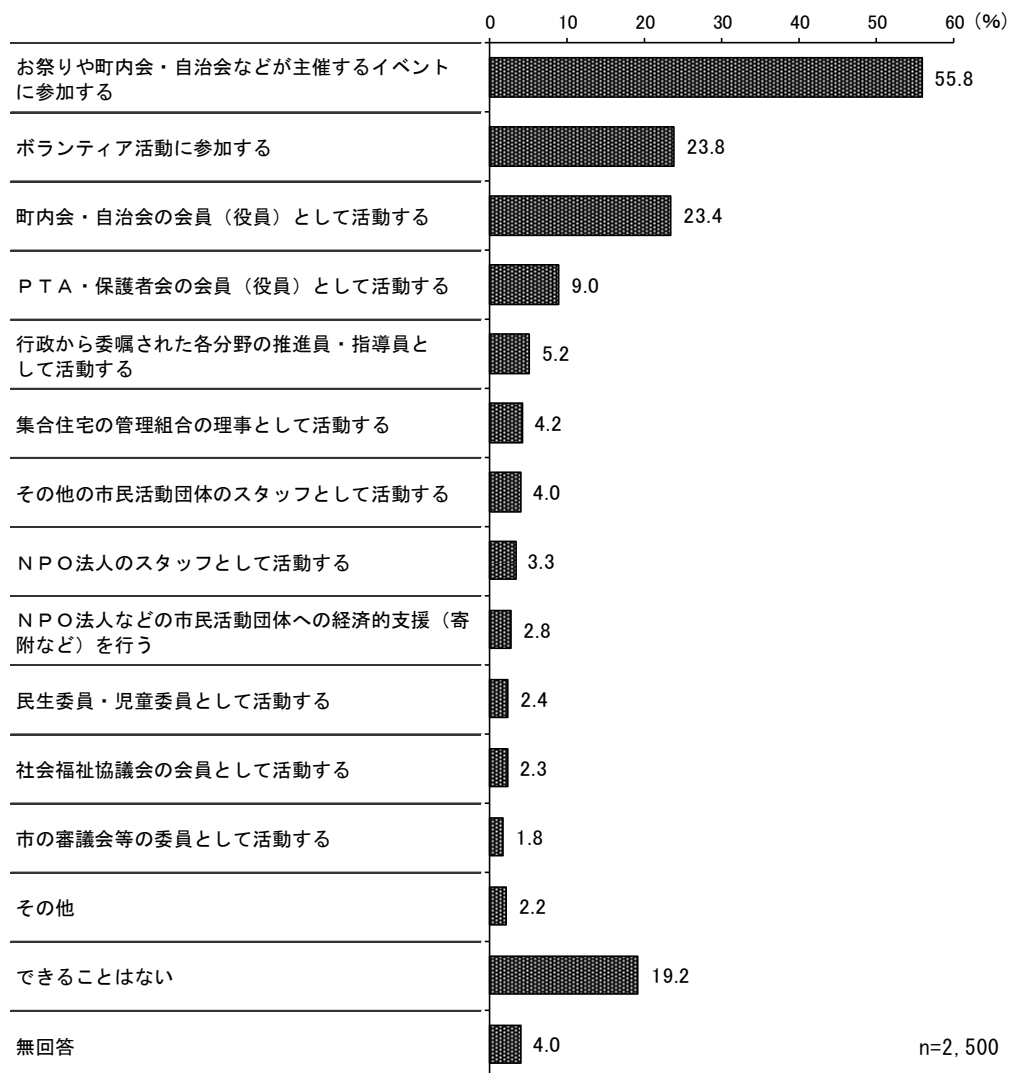
	調査数（人）	暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）	福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）	環境に関すること（ごみ問題、自然環境など）	健康づくりや医療に関すること（地域医療、予防医療、保健など）	活動に関すること（地域活動、市民活動、ボランティアなど）	子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）	都市の開発や整備に関すること（都市計画、都市施設、住宅など）	レクリエーション、歴史・文化、生涯学習など	観光、農業、雇用など（産業振興、地域経済に関すること）	男女共同参画、多文化共生、平和など	その他	関心がない	無回答
全体	2,500	61.9	53.5	39.1	40.3	16.4	28.1	17.6	23.3	13.3	10.0	1.0	7.0	2.9
女性全体	1,309	61.3	57.6	37.7	43.5	16.7	32.0	14.5	20.8	11.4	10.5	1.1	6.7	2.8
18～29歳	118	56.8	45.8	25.4	37.3	20.3	60.2	15.3	20.3	16.9	12.7	-	11.9	0.8
30～39歳	204	54.4	46.6	27.9	36.3	16.2	67.2	18.6	23.5	13.2	8.3	2.0	7.8	1.0
40～49歳	224	57.6	47.8	28.1	39.3	16.1	43.3	11.2	22.8	9.4	7.1	2.7	8.0	1.3
50～59歳	190	70.5	67.4	54.2	46.8	16.8	20.0	18.4	21.1	16.8	13.7	0.5	3.2	-
60～69歳	268	66.4	66.8	47.0	47.4	19.0	18.3	12.3	20.9	8.2	11.6	-	4.9	4.1
70歳以上	302	60.3	62.3	37.7	48.0	13.9	8.3	13.6	17.5	8.9	10.9	1.0	7.0	6.3
男性全体	1,025	63.9	48.2	41.4	37.7	15.7	25.2	21.8	27.5	16.3	8.5	0.8	7.5	2.3
18～29歳	97	53.6	32.0	41.2	29.9	14.4	27.8	26.8	28.9	18.6	12.4	2.1	13.4	1.0
30～39歳	120	60.8	39.2	34.2	31.7	11.7	53.3	21.7	30.0	21.7	5.8	2.5	11.7	0.8
40～49歳	206	60.2	43.7	37.9	31.1	18.4	36.4	25.2	29.6	12.1	6.8	0.5	7.3	0.5
50～59歳	142	59.2	44.4	37.3	33.1	7.7	21.8	23.9	24.6	16.2	9.2	1.4	9.9	2.1
60～69歳	207	67.1	54.6	46.9	40.6	16.4	12.6	18.4	26.6	18.4	7.7	-	6.8	3.4
70歳以上	245	71.8	60.0	44.5	48.6	18.8	11.8	17.6	25.3	13.5	9.4	-	2.9	4.5

(4) まちづくりのためにできること

◇「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」が最も多く、5割半ば

問48. 越谷市のまちづくりのために、あなた自身ができることがあるとすれば、次のどれですか。(複数回答可)

図表 14-4-1 まちづくりのためにできること



まちづくりのためにできることについては、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」(55.8%)が最も多く、次いで、「ボランティア活動に参加する」(23.8%)、「町内会・自治会の会員(役員)として活動する」(23.4%)、「P T A・保護者会の会員(役員)として活動する」(9.0%)、「行政から委嘱された各分野の推進員・指導員として活動する」(5.2%)の順となっている。また、「その他」として「消防団への加入」「講演」等が挙げられた。

# 【資料5】 平成28年度市政世論調査結果報告書 抜粋

性別でみると、「PTA・保護者会の会員（役員）として活動する」は女性（13.4%）が男性（4.4%）より9.0ポイント、「ボランティア活動に参加する」は女性（27.3%）が男性（21.0%）より6.3ポイント、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」は女性（57.9%）が男性（53.9%）より4.0ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別でみると、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」は女性30～39歳（72.1%）で7割強と最も多く、女性18～29歳（66.9%）、男性30～39歳（64.2%）で6割半ばと多くなっている。また、「ボランティア活動に参加する」は女性18～29歳（46.6%）で4割半ばと最も多く、「町内会・自治会の会員（役員）として活動する」は女性50～59歳（34.7%）で3割半ばと最も多くなっている。

図表14-4-2 性・年齢別 まちづくりのためにできること

(%)

	調査数（人）	お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する	町内会・自治会の会員（役員）として活動する	ボランティア活動に参加する	する NPO 法人のスタッフとして活動	その他の市民活動団体のスタッフとして活動する	集合住宅の管理組合の理事として活動する	民生委員・児童委員として活動する	社会福祉協議会の会員として活動する	PTA・保護者会の会員（役員）として活動する	推進員・指導員として活動する	市の審議会等の委員として活動する	NPO 法人などの市民活動団体への経済的支援（寄附など）を行う	その他	できることはない	無回答
全 体	2,500	55.8	23.4	23.8	3.3	4.0	4.2	2.4	2.3	9.0	5.2	1.8	2.8	2.2	19.2	4.0
女性全体	1,309	57.9	24.2	27.3	2.8	3.6	3.5	2.2	2.1	13.4	3.1	0.5	2.7	1.8	17.3	4.0
18～29歳	118	66.9	10.2	46.6	4.2	0.8	-	2.5	0.8	11.0	4.2	-	3.4	1.7	14.4	0.8
30～39歳	204	72.1	21.1	27.0	3.9	2.0	3.4	1.0	1.0	30.9	2.0	-	2.5	1.5	11.3	2.0
40～49歳	224	53.6	23.7	24.1	3.6	4.0	6.3	2.7	-	31.3	3.1	0.9	3.1	2.7	13.4	2.7
50～59歳	190	58.9	34.7	30.5	4.2	5.3	6.8	3.7	1.6	13.2	3.7	1.1	3.2	1.6	10.5	0.5
60～69歳	268	55.6	30.6	28.0	1.9	4.1	2.6	2.2	4.1	1.9	2.6	0.7	2.6	1.5	18.7	5.2
70歳以上	302	49.0	19.5	19.2	1.0	4.0	1.7	1.7	3.3	-	3.3	0.3	2.0	2.0	28.8	8.9
男性全体	1,025	53.9	22.6	21.0	4.2	4.6	5.9	2.4	2.5	4.4	7.8	3.2	3.2	2.3	21.2	2.7
18～29歳	97	50.5	11.3	25.8	4.1	1.0	-	-	-	1.0	8.2	2.1	1.0	1.0	32.0	-
30～39歳	120	64.2	16.7	25.0	5.0	2.5	2.5	3.3	-	7.5	7.5	0.8	1.7	1.7	18.3	2.5
40～49歳	206	59.7	18.0	17.0	2.9	3.9	6.8	1.5	1.9	12.1	9.2	2.4	3.9	0.5	20.4	1.0
50～59歳	142	55.6	24.6	18.3	3.5	4.2	11.3	2.1	1.4	5.6	5.6	3.5	2.8	2.1	19.0	2.8
60～69歳	207	48.8	32.4	24.6	8.2	6.3	9.2	3.4	3.4	1.0	9.2	7.7	5.8	3.4	18.8	3.4
70歳以上	245	48.2	23.7	18.4	2.0	6.1	2.4	2.4	4.9	-	6.5	1.6	2.4	4.1	22.9	4.9

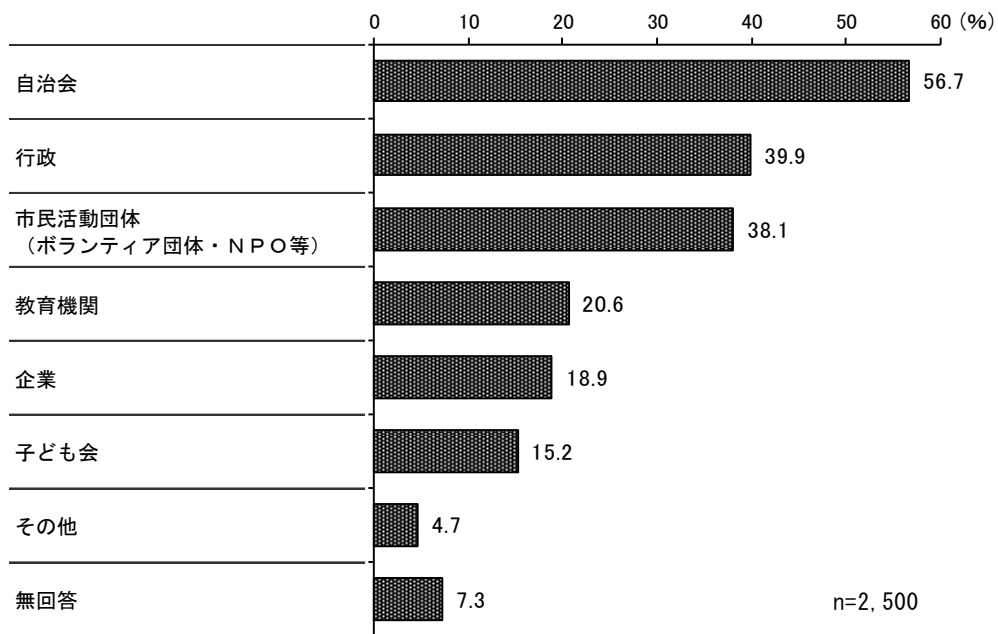


(5) 協働の担い手

◇「自治会」が最も多く、5割半ば

問 49. 越谷市では「それぞれがお互いの役割を認識して取り組むこと」を協働とし、まちづくりを推進しています。その担い手として、あてはまるものはどれだと思いますか。  
(複数回答可)

図表 14-5-1 協働の担い手



協働の担い手については、「自治会」(56.7%)が最も多く、次いで、「行政」(39.9%)、「市民活動団体(ボランティア団体・NPO等)」(38.1%)、「教育機関」(20.6%)、「企業」(18.9%)の順となっている。また、「その他」として「老人会」「PTA」等が挙げられた。

## 【資料5】 平成28年度市政世論調査結果報告書 抜粋

性別で見ると、「市民活動団体（ボランティア団体・NPO等）」は女性（42.0%）が男性（35.4%）より6.6ポイント、「教育機関」は女性（24.1%）が男性（17.8%）より6.3ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別で見ると、「自治会」は女性60～69歳（67.2%）で7割弱と最も多く、「市民活動団体（ボランティア団体・NPO等）」は女性18～29歳（59.3%）で約6割と最も多くなっている。

図表14-5-2 性・年齢別 協働の担い手

	調査数（人）	市民活動団体（ボランティア団体・NPO等）	行政	企業	教育機関	自治会	子ども会	その他	無回答
全体	2,500	38.1	39.9	18.9	20.6	56.7	15.2	4.7	7.3
女性全体	1,309	42.0	39.6	19.6	24.1	56.3	16.3	4.0	7.3
18～29歳	118	59.3	39.0	25.4	36.4	47.5	25.4	3.4	5.1
30～39歳	204	45.6	42.6	27.9	37.3	50.0	27.0	3.4	3.4
40～49歳	224	41.5	51.3	27.7	34.4	45.5	15.6	3.1	4.0
50～59歳	190	47.9	52.1	25.8	24.2	59.5	13.7	1.6	4.2
60～69歳	268	39.6	35.4	10.4	17.9	67.2	12.7	2.2	6.7
70歳以上	302	32.1	25.2	9.6	8.3	60.9	10.9	8.6	15.2
男性全体	1,025	35.4	41.5	18.8	17.8	57.3	14.0	5.2	6.0
18～29歳	97	35.1	44.3	27.8	26.8	36.1	11.3	4.1	2.1
30～39歳	120	35.0	42.5	24.2	27.5	60.8	29.2	3.3	4.2
40～49歳	206	36.4	51.9	25.7	21.8	53.9	16.0	4.9	3.4
50～59歳	142	36.6	50.7	28.2	19.0	59.2	16.9	4.2	2.8
60～69歳	207	41.1	40.1	14.5	14.5	62.3	9.2	4.3	6.8
70歳以上	245	28.6	25.7	3.7	7.3	60.8	8.2	8.2	12.2